

平成31年度(2019年度)全国学力・学習状況調査

# 調査問題の概要

小学校国語	1 ページ
小学校算数	5 ページ
中学校国語	9 ページ
中学校数学	13 ページ
中学校英語	17 ページ
児童生徒質問紙	20 ページ
学校質問紙	25 ページ

令和元年5月14日

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課



## 小学校 国語科

### 【全体を通して】

- ・昨年度のB問題と比較すると、大問数は同じであるが、小問で、選択式、短答式の問題数が増えた。
- ・接続詞の使い方、漢字の書き取り、ことわざなど、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを問う問題が、大問の中の小問として一体的に出題された。
- ・公衆電話について調べたことを報告する文章を書くために有効な資料を活用すること、身近な食べ物について疑問に思ったことを解決するために資料から必要な情報を得ること、置職人へのインタビューを通して自分の知りたいことを聞き出すことや得た情報を整理しまとめること等、目的に応じて情報を捉え、まとめたり伝えたりする力が問われた。

○大問数 3問

○小問数 14問

### ○調査問題の分類・問題数

分類	問題数	問題形式			従来の区分 * 1		読み解く力に関連する問題 * 2	
		選択して答える問題	記号や短い言葉で答える問題	文章で答える問題	知識	活用		
学習する内容	話すこと・聞くこと	3	2	0	1	2	3	3
	書くこと	3	2	0	1	2	3	3
	読むこと	3	2	0	1	2	3	3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	1	4	0	5	5	0

\* 1 「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が、重複しているものがある。

\* 2 「読み解く力に関連する問題」については県独自に分析し分類したものである。

### 【読み解く力に関連する問題】

○大問1 調べたことを報告する文章を書く(「公衆電話」)において、

- ・目的や意図に応じ、調べたことを報告する文章を、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くことができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる。

○大問2 疑問に思ったことを調べ、紹介し合う(「食べ物の保存」)において、

- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読むことができるかどうかをみる。

○大問3 地域で活躍する人を紹介する(置職人へのインタビュー)において、

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて、質問を工夫することができるかどうかをみる。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

大谷さん　そうですね。部屋の大きさに合わせたり。お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん　職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん　親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん　では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん　道具を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん　いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありませんが、何とか親方のようになりたいたいと思いながら、練習をしていました。

岸さん　そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん　思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん　すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にできたことや心構えはありますか。

大谷さん　そうですね。五十年も職人をしてきましたが、いまだに完ぺきだと思える仕上げはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん　お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、イ またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

二 「インタビュ어의様子」の  で、岸さんは、 部のようにくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- 2 相手に質問をする理由を理解してもらるように、インタビュ어의目的を伝えてから質問をしている。
- 3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。
- 4 相手の話の中に分らない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

**② 情報を整理する**

・大谷さんの反応から、返答が難しい質問であったことに気づき、問い返すことで大谷さんの思いを理解しようとする。

【直接聞いてみたいこと】について、大谷さん、答えにくそうだな。「大切にできたことや心構え」という言葉に変えて、もう一度、尋ねてみよう。

三 岸さんは、インタビュ어의最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビュ어의様子」の  イ に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

- 〈条件〉
- 「インタビュ어의様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
  - インタビュ어としてふさわしい言葉づかいにすること。
  - 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

**② 情報を整理する**

・大谷さんの思いを、自分の考えと照らしながら理解する。

**③ 解決し、再構築する**

・大谷さんの仕事への思いや大切にしていることについて、心に残ったことを伝えることができる。

予想していた回答と照らし合わせてみて、新しくわかったことがありました。大谷さんの思いを聞いて、私を感じたことをまとめよう。

**正答例**

自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、挑戦し続けているところが心に残りました。





## 小学校 算数科

### 【全体を通して】

- ・昨年度の B問題と比較すると、大問数は10問減り、小問題数は4問増えた。また、記述式の問題は1問減った。
- ・図形の構成要素に着目して、数種類の四角形の中から台形を選ぶなどの基礎的・基本的な知識・理解を問う問題が大問の中の小問として一体的に出題された。
- ・1人あたりの水の使用量を調べるために、単位量あたりの大きさに注目をして2つのグラフを比較する問題や、遊園地での待ち時間について与えられた条件をもとに数学的に捉え、解決する問題など、身近な問題を題材に、事象を数学的に解釈したり、自分の考えを数学的に表現したりする力が問われた。

○大問数 4問

○小問数 14問

### ○調査問題の分類・問題数

分類	問題数	問題形式			従来の区分 * 1		読み解く力 に関連する 問題 * 2	
		選択して答 える問題	記号や短い 言葉で答え る問題	文章で答え る問題	知識	活用		
学 習 す る 内 容	数と計算	7	1	5	1	3	7	6
	量と測定	3	0	0	3	0	3	3
	図形	2	2	0	0	2	2	1
	数量関係	7	3	2	2	4	7	6

\* 1 「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が、重複しているものがある。

\* 2 「読み解く力に関連する問題」については県独自に分析し分類したものである。

### 【読み解く力に関連する問題】

○大問2 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること(水の使用量)において、

- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを読み取ることができるかどうかをみる。
- ・2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、1人あたりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

○大問4 日常生活の事象を数理的に捉え判断すること(遊園地での待ち時間)において、

- ・目的に適した伴って変わる2つの数量を見いだすことができるかどうかをみる。
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができるかどうかをみる。
- ・示された場面の状況から、単位量あたりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを言葉や数を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することができるかどうかをみる。

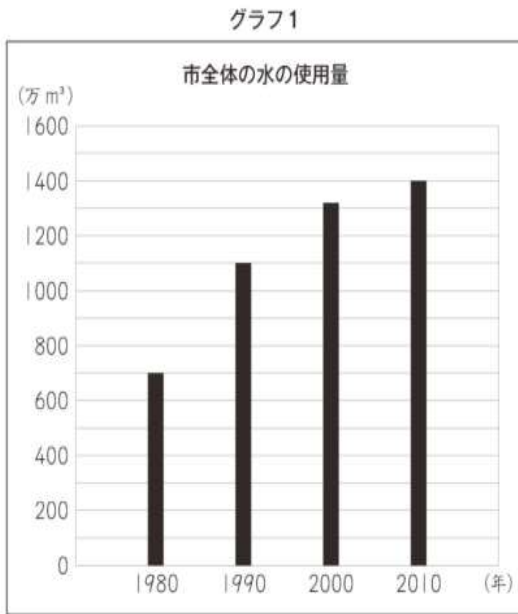
## 2 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること(水の使用量)

### 出題の趣旨

- 日常生活の問題の解決のために、資料の特徴や傾向を基に考察したり、複数の資料の(1)棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る。(2)棒グラフから、2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の使用量の何倍かを読み取る。

2

かいとさんたちは、水を大切に使っているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけました。



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、グラフ1からどのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。答えを書きましょう。

### 正答

- (1) 3  
(2) 約2倍

2 (1)(2)

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

グラフ1から1980年から2010年までの10年ごとの市全体の水の使用量が増えていることを読み取る。

グラフ1から1980年と2010年の水の使用量を読み取り、何倍かを比較する。



1980年と2010年の水の使用量を比べるには、両方の年の水の使用量を調べる必要があるね。

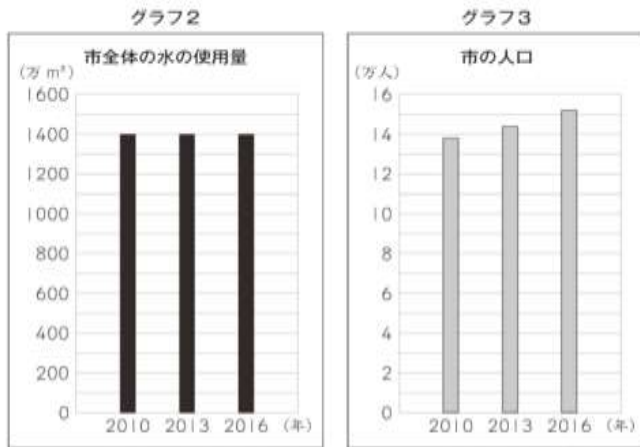
棒グラフの特徴や傾向を目的に応じて読み取ることができる。



特徴や傾向を関連付けて判断したりすることができるかどうかをみる。

(3) 2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、1人あたりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述することができる。

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



私たちは、水を大切に使っているといえるのでしょうか。



市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかわかりません。



グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

### 正答

(3) 1  
わけ(例) 1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。

## 2 (3)

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

グラフ2から2010年、2013年、2016年の市全体の水の使用量は同じであると読み取る。また、グラフ3より人口は増えていることを読み取る。

①の結果から、「水を大切に使っているか」を調べるために、2つのグラフの特徴を関連付けて、1人あたりの水の使用量に着目し、比較する。

「1人あたりの水の使用量は減っている」という結論を、根拠をもとに自分の言葉でまとめる。

グラフ2からは、2010年、2013年、2016年の市全体の水の使用量は同じであると分かったよ。グラフ3からは、人口が増えていることが分かったよ。でも、「水を大切に使っているか」を調べるには、どうしたらいいかな？



あやのさんが言っているように、2つのグラフから「1人あたりの水の使用量」を求めて比べると「水を大切に使っているか」が分かったよ。

目的に応じて、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断することができる。



中学校 国語科

【全体を通して】

- ・昨年のB問題と比較すると、大問数、小問数とも1問増えた。また、大問1の資料が、問題用紙Ⅱとして別刷りになった。漢字の読み書きの問いがなくなり、記述式の問いでも字数制限がなかった。
- ・新聞記事におけるリード文の役割、封筒のあて名書き、司会の役割、省略して使う言葉の働きなど、基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを問う問題が、大問の中の小問として一体的に出題された。
- ・資料や話し合いの様子から話の展開や内容を正確に読み取る力や、鑑賞文や意見文を書く問いでは、資料を適切に引用しながら自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫する力が問われた。

○大問数 4問

○小問数 10問

○調査問題の分類・問題数

分類	問題数	問題形式			従来の区分 * 1		読み解く力 に関連する 問題 * 2	
		選択して答 える問題	記号や短い 言葉で答え る問題	文章で答え る問題	知識	活用		
学 習 す る 内 容	話すこと・聞くこと	3	2	0	1	2	3	3
	書くこと	2	1	0	1	1	2	2
	読むこと	3	2	0	1	2	3	3
	伝統的な言語文化と国語の特 質に関する事項	2	1	1	0	2	2	0

\* 1 「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が、重複しているものがある。

\* 2 「読み解く力に関連する問題」については県独自に分析し分類したものである。

【読み解く力に関連する問題】

○大問1 情報を読む(新聞)において、

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

○大問2 話し合いをする(文化祭)において、

- ・話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。
- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解しているかどうかをみる。
- ・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

○大問3 意見文を書く(地域の店)において、

- ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することができるかどうかをみる。
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

# 声の広場



(中2・野球大好き)



(中3・こねこ)

## みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝

中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ

中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と

中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける背の足取り自然と軽く

中三 松田 花子

### ■投稿先

〒100-6543 東京都千代田区中央3  
全国中学生新聞「声の広場」係  
FAX 000-123-XXXX  
メール zenkoku@xxxx.xxx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。

▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。



### ① 情報を取り出す

・短歌の中の言葉を取り上げることが出来る。

### ② 情報を比較し、関連付ける

・取り上げた言葉から、想像できる情景や心情を書くとともに、想像した内容について感じたことや考えたことを具体的に書くことができる。

「新しいノート教科書」と「背筋伸ばして」を取り出す言葉にする。

想像できる情景や心情は、新年度の最初の授業の始まりを期待と不安の混ざった気持ちで待っている様子。

みんな新年度になると決意を新たにしていると思う。

三 「みんなの短歌」には掲載されている内田さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から「背筋伸ばして」の短歌を選んでみました。その短歌を元々であったが感じたことや考えたこと、【選者より】を参考にしながら、次の条件①と条件②にしたがって書きなさい。

① 文が、読み返して内容を正確に読みとるは、二本線で出した行の間に書き添えたりもかまいません。

条件① 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を表現すること。

条件② 条件①で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

「新しい」と「背筋を伸ばして始まりを待つ」という表現から、新年度の最初の授業の始まりを、期待と不安とが混ざった気持ちで待っている様子が想像できます。新年度を迎えると、皆気持ちを引き締めたり決意を新たにしたりするものです。

出題の趣旨

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。
- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

# 海外に広がる弁当の魅力



カスクロール

アメリカのボックスランチやフランスのカスクロールなど、日本の弁当のように戸外に持ち出して食べるのできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちは身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外

## (シリーズ)再発見！日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当(bento)」「漫画(manga)」「俳句(haiku)」「盆栽(bonsai)」「折り紙(origami)」は、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。第一回は、弁当です。

### 1 2 3 4 5 「弁当」

で話題になつていっています。弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに取まっています。そのため、栄養バランスがよい食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べて、鮮やかないろどりになるように工夫された弁当を見て、「まるで宝石箱のようだ」と言う海外の方もいます。

また、様々なデザインの花柄や色合いの弁当箱を好みに応じて選ぶことも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランスのデザート売り場でも、おしゃれなカフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。



曲げわっぱの弁当

弁当は、誰かのために作ったり、寺で持参する和食であり、あじあいと食べたりすることもあります。こうした、人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。妊婦さんや高齢者も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいるのです。

次回「漫画」を取り上げます。

② 情報を整理する  
文章の展開に即して、情報を整理し、目的や必要に応じて情報を過不足なく整理することができます。

この部分の書き方は、日本の文化↓五つの例↓本シリーズの構成↓第1回の内容という表現になっている。

① 情報を取り出す  
文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、書かれている内容を的確に捉え、文章全体と部分の関係を考えることができる。

第二段落に「弁当の魅力」が書いてある。第三段落にも「また」と接続詞を用いて、「弁当の魅力の一つ」が書いてある。

「シリーズ」再発見！日本の文化 には、海外でも広く知られているものがあります。『第一回は、弁当です。』という文章は、このように構成されています。このように構成されている文章は、次の1から4までの中から一つ選んでください。





## 中学校 数学科

### 【全体を通して】

- ・昨年度のB問題と比較すると、大問数は4問、小問数は2問増え、記述式の問題は1問減った。
- ・問題の前半に連立方程式を解く問題や確率を求める問題など、基本的な知識・理解や技能を問う問題が続けて5問出題された。
- ・冷蔵庫を購入するために、式やグラフを用いて総費用を比較する問題や、読書活動について実施したアンケートの結果をもとに作成されたグラフやその中央値などの値から、読書活動の状況を考察するなど、身近な話題を題材にした問題を通して、事象を数理的に考察し、結果について数学的に表現する力が問われた。

○大問数 9問

○小問数 16問

### ○調査問題の分類・問題数

分類	問題数	問題形式			従来の区分 *1		読み解く力に関連する問題 *2	
		選択して答える問題	記号や短い言葉で答える問題	文章で答える問題	知識	活用		
学習する内容	数と式	5	2	2	1	2	5	3
	図形	4	1	2	1	3	4	1
	関数	3	1	1	1	1	3	2
	資料の活用	4	1	2	1	2	4	2

\*1 「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が、重複しているものがある。

\*2 「読み解く力に関連する問題」については県独自に分析し分類したものである。

### 【読み解く力に関連する問題】

○大問6 事象の数学的な解釈と問題解決の方法(冷蔵庫)において、

- ・グラフ上の2点のy座標の差を、事象に即して解釈することができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

○大問8 分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(図書だより)において、

- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができるかどうかをみる。

# 8 分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(図書だより)

## 出題の趣旨

- 資料に基づいて不確定な事象を考察する場面において、次のことができるかどうかを
  - (1) 資料を整理した表から最頻値を読み取る。
  - (2) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。

8 図書委員会では、生徒の読書活動の状況を調べ、図書だよりにまとめようと考えています。そこで、図書委員の航平さんと桃子さんは、全校生徒270人を対象に、最近1か月間に読んだ本の冊数と、1日あたりの読書時間が何分であるかを回答するアンケートを実施しました。

アンケートのお断り	
・最近1か月間で読んだ本は何冊ですか。	(冊)
・1日あたりの読書時間は何分ですか。	(分)

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 二人は、実施したアンケートをもとに、最近1か月間に読んだ本の冊数について、下のような表にまとめました。下の表において、読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

最近1か月間に読んだ本の冊数

読んだ本の冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

## 正答

- (1) 1  
(2) (例)

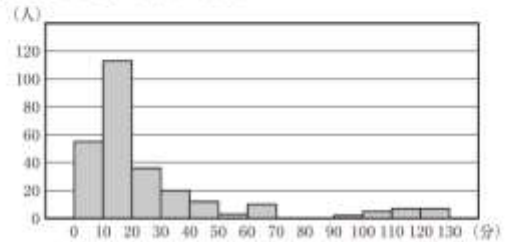
1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」  
桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

# 8 (2)

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

○桃子さんが作ったヒストグラムの特徴を的確に捉える。

○航平さんが作った表の「平均値26.0分」という情報と、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴とを関連付けて考察する。

○考察した結論や判断の理由を、根拠をもとに数学的な表現を用いて説明する。

ヒストグラムを見ると「10分以上20分未満」の所が一番高くなっているね。でも、表を見ると「平均値が26.0分」これってどういうことかな。



ヒストグラムの形を見ると、平均読書時間の26分が、度数が最大である階級に含まれていないよ。だから、1日の読書時間が26分である生徒が最も多いとは言えないね。

資料の傾向を読み取り、批判的に考察し判断したことの根拠を、数学的な表現を用いて説明することができる。

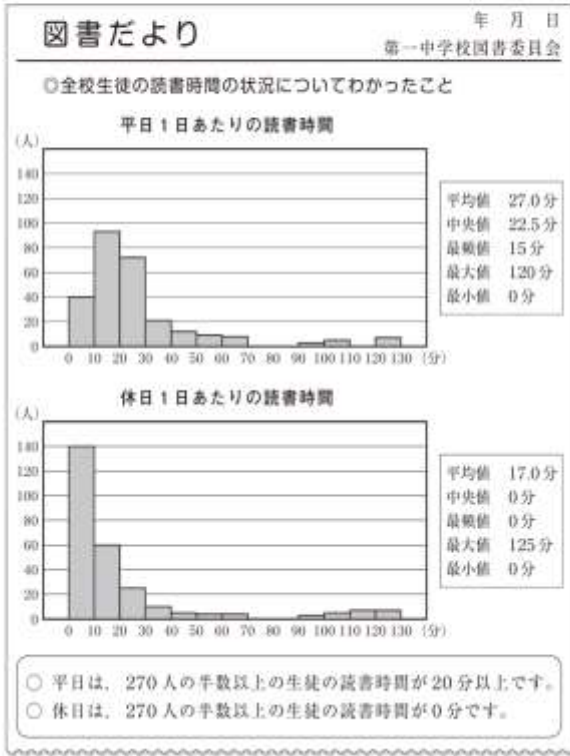


みる。

(3) 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる。

(3) 二人は、月曜日から金曜日までの平日と、土曜日と日曜日の休日では、1日あたりの読書時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、全校生徒を対象に、平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間を調べるアンケートを改めて実施し、270人の生徒が回答しました。そして、集計した結果をまとめ、次のような図書だよりの下書きを作成しています。

図書だよりの下書き



前ページの図書だよりの下書きには、わかったこととして次のことが書かれています。

- 平日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が20分以上です。
- 休日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が0分です。

このことは、図書だよりの下書きにある平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間の、ある値に着目することでわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値



正答

(3) イ

8 (3)

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

○図書だよりの下書きにあるヒストグラムなどの集計結果の特徴を的確に捉える。

○平日の結果と休日の結果を比較し、「わかったこと」としてあげられている事柄を関連付けて考察する。

○考察したことを基に平日と休日の読書時間の傾向を捉えるためにどのような代表値を用いればよいかを判断する。

平日や休日の読書時間を示したヒストグラムは、極端に左に偏っているね。これでは平均値を参考にするのは難しいな。



270人の半数以上の生徒が、平日は20分、休日は0分の読書時間と書いてあるね。半数以上ということは、中央値に着目すればいいんじゃないのかな。ヒストグラムで確認してみよう。

問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる。



中学校 英語科

【全体を通して】

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」調査

- ・日常生活や学校生活、友達や家族についてなど、中学生の身の回りにある事柄から多く出題された。英語での情報や絵・グラフなどの資料を理解したり、これらを活用して表現したりする問題が出題された。
- ・メッセージを聞いたり、意見文を読んだりして、自分の意見を英語で書く問題が出題された。
- ・聞いたり読んだりした内容や話し手・書き手の意見などを正確にとらえ、適切に応じたり、自分の考えを示したりする力が問われた。

「話すこと」調査

- ・イラストについての質問に英語で答える問題、2人のやり取りの内容を踏まえ、会話が続くように英語で応じる問題、テレビ番組の収録という設定で自分の将来の夢やそのためにがんばっていることを英語で話す問題が出された。
- ・基本的な表現や文法を理解して応答したり、聞いて把握した内容についてやり取りしたり、まとまりのある内容を話したりする力が問われた。

- 「聞くこと」調査 大問数 4問 小問数 7問
- 「読むこと」調査 大問数 4問 小問数 6問
- 「書くこと」調査 大問数 2問 小問数 8問
- 「話すこと」調査 大問数 3問 小問数 5問

○調査問題の分類・問題数

分類	問題数	問題形式					従来の区分 *1		読み解く力に関連する問題 *2	
		選択して答える問題	語彙や短い文(記述)で答える問題	まとまりある文(記述)で答える問題	語彙や短い文(口述)で答える問題	まとまりある文(口述)で答える問題	知識	活用		
学習する内容	聞くこと	7	6	0	1			4	3	3
	読むこと	6	5	0	1			3	3	3
	書くこと	8	2	5	1			7	1	1
	話すこと	5				3	2	3	2	2

\*1 「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が、重複しているものがある。

\*2 「読み解く力に関連する問題」については県独自に分析し分類したものである。

【読み解く力に関連する問題】

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」調査(「書くこと」調査)

○大問10 まとまりある文章を書くにおいて、

- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

「話すこと」調査

○大問3 まとまりのある内容を話すにおいて、

- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

**出題の趣旨**

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

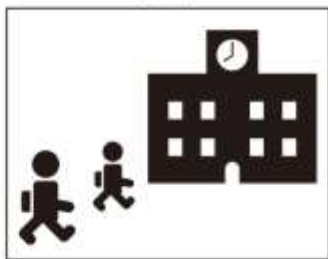
10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで見解を募集しています。どちらかの実を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【 A 】



【 B 】



※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 ( , や ? など) は語数に含めません。

(例) No. I'm not. 【3語】

Blank writing area with horizontal lines and a vertical line on the right side. The number 25 is written near the top and 45 near the bottom.

**正答**

(例)【あなたの選んだ案:A】

I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library.

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

○ピクトグラムAとBの特徴を捉える。

○「学校」を表すピクトグラムAとBの相違点を考える。

○相互の関連に注意を払い、全体として話題や文章構成に一貫性のある文章を書く。

Aは教室で先生が生徒に本を読んでいるようだ。

Bの建物は図書館みたい。だから、Aのほうが「学校」としていいな。

わかりやすくまとまりのある文を書くには、まず、結論から言って、次に理由で...

比べるのだから比較級を使おう。理由を言うには because ~ だね。

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

出題の趣旨

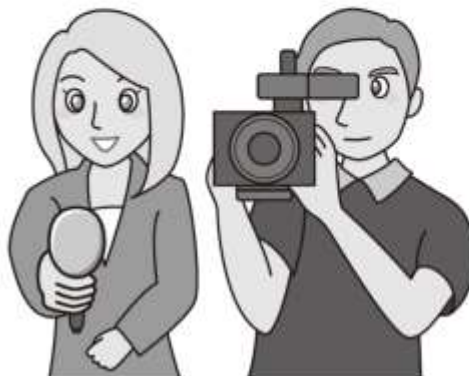
与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。それでは、30秒で話してください。

話してほしい内容

(①、②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



正答 (例) I want to be a farmer and grow delicious vegetables. My grandfather is a farmer, so I will help him and learn many things from him.

①必要な情報を確かに取り出す

②情報を比較し、関連付けて整理する

③自分なりに解決し、知識を再構築する

○テレビ番組の収録で30秒間で話す。  
○伝えたい自分の夢ややってみたいことを想起する。

○「将来の夢」と「その夢の実現のためにやるべきこと」を関連付ける。

○自分の意見や主張を根拠などを示しながら話す。  
○自分の意見や主張を聞き手に対してわかりやすく話す。

夢か。それを30秒で話すのか。



ぼくは、じいちゃんのような農家になりたい！だから、じいちゃんからいろいろ教えてもらおう。

まとまりのある内容を話すには、まず、なりたいたいものと言ってからがんばることを言うほうがいいな。



「～になりたい」は want to be ~だね。

与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

## 児童・生徒質問紙

### ○全体を通して

〔質問数〕 小学校：58 項目（昨年度より 4 項目減）  
 中学校：69 項目（昨年度より 10 項目増）

#### 〔特記事項〕

- ・小学校、中学校ともに、理科に関する質問項目が無くなり、国語科に関する質問項目が平成 29 年度から再び加えられた。
- ・小学校の質問項目を見ると、平成 30 年度の質問項目が 32 項目無くなったが、新たな質問項目が 11 項目加えられた。  
 また、平成 29 年度の質問項目から 17 項目が再び加えられた。
- ・中学校の質問項目を見ると、平成 30 年度の質問項目が 35 項目無くなったが、今年度実施された英語科に関する質問項目など、新たに 26 項目が加えられた。  
 また、平成 29 年度の質問項目から 19 項目が再び加えられた。

### ○今年度、加えられた項目

（１）新たに加えられた項目（小：11 項目、中：26 項目）

H 3 1 番号		調 査 項 目
小学校	中学校	
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
11	11	学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある
26	26	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う
次のことについて、当てはまるものを 1 つずつ選んでください。		
/	29	学校の部活動に参加する主な理由は、以下のうちどれですか。
27	30	5 年生まで〔1, 2 年生のとき〕に受けた授業で、コンピュータなどの ICT をどの程度使用しましたか。
28	31	授業でもっとコンピュータなどの ICT を活用したいと思いませんか。
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
32	35	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う
33	36	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う
あなたは、国語についてどのように思っていますか。		
41	44	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている
43	46	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由〔根拠〕を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している
44	47	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる
あなたは、英語についてどのように思っていますか。		
/	54	英語の勉強は好きだ
/	55	英語の勉強は大切だ

	56	英語の授業はよく分かる
	57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
	58	あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか。
	59	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。
あなたが1, 2年生のときに受けた授業について、当てはまるものを1つずつ選んでください。		
	60	英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う
	61	英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う
	62	原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う
	63	スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う
	64	自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う
	65	聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う
	66	聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思う
調査問題の解答時間は十分でしたか。		
57	67	国語(45分〔50分〕)
58	68	算数〔数学〕(45分〔50分〕)
	69	英語(「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)(45分)

(2) H29年度の質問紙から、再び加えられた項目(小:17項目、中:19項目)

H31番号		調査項目
小学校	中学校	
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
7	7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う
9	9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
10	10	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している
12	12	学校に行くのは楽しいと思う
14	14	人が困っているときは、進んで助けている
次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。		
20	20	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。
21	21	読書は好きですか。

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
25	25	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う
次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。		
	27	学校の部活動に参加していますか。
	28	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動を行いますか。
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
30	33	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている
31	34	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う
34		道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う
あなたが5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業について、当てはまるものを1つずつ選んでください。		
	39	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う
あなたは、国語についてどのように思っていますか。		
37	40	国語の勉強は好きだ
38	41	国語の勉強は大切だ
39	42	国語の授業の内容はよく分かる
40	43	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
42	45	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている
あなたは、今回の国語の問題について、どのように解答しましたか。		
45	48	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。



○H30年度の質問紙にはあったが、今年度は無くなった項目

(小：32項目、中：35項目)

H30番号		調査項目
小学校	中学校	
あなたは、家で次のようなことをしていますか。		
11	11	学校の宿題をしている
12	12	学校の授業の予習・復習をしている
13	13	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている
次の(16)・(17)について、当てはまるものを全て選んでください。当てはまるものがない場合は、何も記入〔回答〕する必要はありません。		
16	16	放課後に何をして過ごすことが多いですか。
17	17	週末に何をして過ごすことが多いですか。
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。		
19	19	5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う
21	21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
23	23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある
24	24	地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。
26	26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含まれます。）
あなたは、算数〔数学〕についてどのように思っていますか。		
	30	数学ができるようになりたい
	31	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
	32	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
	34	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
	35	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている
	36	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている
あなたは、理科についてどのように思っていますか。		
38	38	理科の勉強は好きだ
39	39	理科の勉強は大切だ
40	40	理科の授業の内容はよく分かる
41	41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある
42	42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
43	43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
44	44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい
45	45	【小学校】理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。 【中学校】理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。

46	46	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。
47	47	観察や実験を行うことは好きだ
48	48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている
49	49	【小学校】理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている 【中学校】理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している
50	50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている
あなたは、今回の理科の問題について、どのように解答しましたか。		
51	51	【小学校】 解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。 【中学校】 解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。
次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。		
52		5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った
53		5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた
54		今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思う
調査問題の解答時間は十分でしたか。		
58	55	【国語A(20分〔45分〕)】
59	56	【国語B(40分〔45分〕)】
60	57	【算数〔数学〕A(20分〔45分〕)】
61	58	【算数〔数学〕B(40分〔45分〕)】
62	59	【理科(40分〔45分〕)】

## 学校質問紙

### ○全体を通して

〔質問数〕 小学校：64項目（昨年度より20項目減）

中学校：80項目（昨年度より1項目減）

#### 〔特記事項〕

- ・小学校、中学校ともに、理科の指導に関する質問項目が無くなり、国語科の指導に関する質問項目が平成29年度から再び加えられた。
- ・小学校の質問項目を見ると、平成30年度の質問項目が35項目無くなったが、新たな質問項目が3項目加えられた。  
また、平成29年度の質問項目から12項目が再び加えられた。
- ・中学校の質問項目を見ると、平成30年度の質問項目が32項目無くなったが、今年度実施された英語科に関する質問項目など新たに19項目が加えられた。  
また、平成29年度の質問項目から12項目が再び加えられた。

質問項目の種類	項目数	
	H31	
	小学校	中学校
○ 学校規模等	7	7
○ 生徒指導等	7	7
○ 学校運営に関する状況	7	8
○ 教職員の資質能力の向上	10	10
○ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	7	8
○ 国語科の指導方法	6	6
○ 算数〔数学〕科の指導方法	4	4
○ 英語科の指導方法（中学校のみ）	/	13
○ ICTを活用した学習状況	1	1
○ 特別支援教育	1	1
○ 小学校教育と中学校教育の連携	3	3
○ 家庭や地域との連携等	5	5
○ 家庭学習	4	6
○ 調査結果の活用	2	2
合 計	64	80

○今年度、加えられた項目

(1) 新たに加えられた項目 (小：3項目、中：19項目)

H31 番号		調 査 項 目
小学校	中学校	
<b>【学校運営に関する状況】</b>		
あなたの学校の教職員の取組について、次の事項にどの程度当てはまりますか。		
	22	部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている
<b>【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導に関して、次のことをどの程度行っていますか。		
34	35	学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている
35	36	学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童〔生徒〕が意思決定できるような指導を行っている
36	39	特別の教科 道徳において、児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている
<b>【英語科の指導方法】</b>		
調査対象である第3学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、次のような指導をどの程度行いましたか。		
	50	補充的な学習の指導
	51	発展的な学習の指導
	52	英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動
	53	英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動
	54	原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動
	55	英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動
	56	自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動
	57	聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動
	58	聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動
<b>【英語科の指導方法】</b>		
次のことについて、あなたの学校の状況に当てはまる番号を1つずつ選んでください。		
	59	調査対象である第3学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか。
	60	前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか。
	61	年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT（外国語指導助手）を活用した授業を行いましたか。
	62	英語担当教師とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか。

<b>【家庭学習】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対して、前年度までに、次のような取組を行いましたか。		
<b>【英語】</b> 英語の指導として、		
	77	家庭学習の課題（宿題）を与える
	78	生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除きます。）についての評価・指導を行う

(2) H29年度の質問紙から、再び加えられた項目（小：12項目、中：12項目）

H31番号		調査項目
小学校	中学校	
<b>【学校規模等】</b>		
調査対象である第6学年〔第3学年〕の児童〔生徒〕についてお答えください。		
7	7	日本語指導が必要な児童〔生徒〕は、何人ですか。
<b>【生徒指導等】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕は、次の事項にどの程度当てはまりますか。		
8	8	熱意をもって勉強している
10	10	礼儀正しい
<b>【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導に関して、次のことをどの程度行っていますか。		
33	34	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている
<b>【国語科の指導方法】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する国語の授業において、前年度までに、次のような指導をどの程度行いましたか。		
39	40	補充的な学習の指導
40	41	発展的な学習の指導
41	42	目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業
42	43	書く習慣を付ける授業
43	44	様々な文章を読む習慣を付ける授業
44	45	漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業
<b>【家庭学習】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対して、前年度までに、次のような取組を行いましたか。		
<b>【国語】</b> 国語の指導として、		
61	75	家庭学習の課題(宿題)を与える
62	76	児童〔生徒〕に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除きます。)についての評価・指導を行う

○H30年度の質問紙にはあったが、今年度は無くなった項目（小：35項目、中：32項目）

H30番号		調 査 項 目
小学校	中学校	
<b>【学校規模】</b>		
あなたの学校の児童〔生徒〕数についてお答えください。		
3	3	平成29年5月1日現在の第5学年の児童〔第2学年の生徒〕数(特別支援学級の児童〔生徒〕数は除きます。)は、何人ですか。
あなたの学校の学級数についてお答えください。		
6	6	平成29年5月1日現在の第5学年〔第2学年〕の学級数(特別支援学級は除きます。)は、何学級ですか。
<b>【教員】</b>		
調査対象日現在、あなたの学校に在職する教員の、他校で勤務した期間も含めた、教員としての教職経験年数(平成30年4月1日現在の教職経験年数)別の人数を入力してください。		
8	8	経験年数が5年未満の教員は何人ですか。
9	9	経験年数が5年以上10年未満の教員は何人ですか。
10	10	経験年数が10年以上20年未満の教員は何人ですか。
11	11	経験年数が20年以上の教員は何人ですか。
<b>【児童(生徒)】</b>		
調査対象である第6学年〔第3学年〕の児童〔生徒〕についてお答えください。		
15		調査対象日現在の第6学年の児童が、第6学年に進級する際に、クラス替えをしましたか。
<b>【学習指導・生徒指導】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導に関して、前年度までに、次のことをどの程度行いましたか。		
27	26	教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った
29	28	調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導において、前年度に、児童〔生徒〕がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか。
<b>【算数(数学)科の指導方法】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導方法として、次のような指導をどの程度行いましたか。		
<b>【算数〔数学〕】算数〔数学〕の授業において、</b>		
35	34	前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした
36	35	前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する算数〔数学〕の授業において、前年度までに、次のような指導をどの程度行いましたか。		
41		調査対象である第6学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか。
<b>【理科の指導方法】</b>		
42	40	調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する理科の授業において、前年度に、児童〔生徒〕の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか。

調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する理科の授業において、前年度までに、次のような指導をどの程度行いましたか。当てはまる番号を1つずつ選んでください。		
43	41	補充的な学習の指導
44	42	発展的な学習の指導
45	43	実生活における事象との関連を図った授業
46	44	児童〔生徒〕が科学的な体験や自然体験をする授業
47	45	自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導
48	46	観察や実験の結果を整理し考察する（分析し解釈する）指導
49	47	【小学校】 観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導 【中学校】 観察や実験のレポートの作成方法に関する指導
50	48	調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員※が配置されていましたか。 ※ここでいう「観察実験補助員」とは、理科の観察・実験に使用する設備の準備・調整、授業における補助等を行う教員以外の職員のことをいいます。
51	49	調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童〔生徒〕が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。
<b>【特別支援教育】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対して、前年度までに、次のような取組をどの程度行いましたか。		
53	51	地域の人材を外部講師として招聘（へい）した授業
54	52	ボランティア等による授業サポート（補助）
55	53	博物館や科学館，図書館を利用した授業
56	54	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導
57	55	授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会の設定
次のことについて、あなたの学校の状況に当てはまる番号を1つずつ選んでください。		
58		調査対象である第6学年の児童に対して小学校在籍期間中に、教育課程に位置づけられた自然の中での集団宿泊活動を行ったことがあるか、または今後行う予定がありますか。（複数回実施した場合は、最も長期のものについてお答えください。）
<b>【家庭学習】</b>		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対して、前年度までに、次のような取組を行いましたか。		
<b>【国語・算数〔数学〕共通】</b>		
63	60	保護者に対して児童〔生徒〕の家庭学習を促すような働きかけ
65	62	家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与える
<b>【算数〔数学〕】算数〔数学〕の指導として、</b>		
67	64	家庭学習の課題（宿題）を与える
68	65	児童〔生徒〕に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除きます。）についての評価・指導

【理科】理科の指導として、		
69	66	家庭学習の課題(宿題)を与える
70	67	長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与える
71	68	児童[生徒]に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除きます。)についての評価・指導